

意見交換 主な内容

意見等 世帯の増加は若い人の流入が多いからではないか。

応 答 どちらかというと本市は、若い世代、家族層の転入の割合が多い状態である。本市の場合、民間こども園など、新しい施設を作っても、すぐに定員となり、待機が発生してしまう状況である。こども誰でも通園制度が始まったが、民間の園では部屋が空いていない状況も生じている。若い世代が住みやすい環境づくりを今後もしっかりと進めていく。

意見等 未来に輝く教育のまち条例について、保護者が第一義的な責任を負うこと、社会全体で関わるということ、趣旨の間に乖離を感じる。

応 答 「こどもを社会全体で関わる」という点は多くの方にご理解いただけると思うが、問題が発生した際に、第一義的な責任は保護者となる。社会総がかりで教育を支えるという趣旨である。

意見等 池守田中家について、どのような事業を実施するのか。また、この事業に限らず、広報不足があるのではないか。歴史を残すのも大事だが、活用を考えてほしい。

応 答 国史跡狭山池の附（つれたり）となった池守田中家について、今年度、土地を市が購入し、まずは保存する。今後、市民の皆様にご覧いただくには、改修などが伴うので、有効な活用を検討していきたい。広報の仕方、時期についても、今後、工夫していきたい。

意見等 部活動の地域展開の予算があるが、どのように使われるのか。会費を取って運営すると聞いている。

応 答 令和7年度に引き続き、令和8年度は試行的に実施しており、市で委託費用等（サッカー、卓球、吹奏楽）を負担している。今後、保護者に全て負担をお願いするのか、一部負担にするのか、検討する。

意見等 今熊地区周辺エリア複合施設について、今後、ワークショップはあるのか。駐車場と建物が遠いと、雨天時に、楽器の搬入などに支障があるので、駐車場の位置を考えてほしい。パブリックコメントなどで意見を出して、反映されないことも多いので、検討だけで終わらせないでほしい。

応 答 ワークショップは、事業者を交えて、実施を予定している。一定、市として要求する項目や総事業費の制約などもあり、建物の大幅な変更は難しいが、内部設備など、可能な範囲で市民の声を反映させたい。

意見等 市民もそうだが、市職員に縮充という考え方が浸透しているのか、思うところがある。担当部署以外の認識は不足しているのではないか。

応 答 職員間で理解度に差が生じることがないように、担当以外でも考え方を認識できるようにしたい。